

授業料の半額相当額を支給などに分かれます。なかには講習会費用まで免除する学校もあります。

また、これらの制度も入学後1年ごとに審査して継続を決める学校もあります。これは特待生を続け、勉学を頑張ろうとするモチベーションにつながり、それが第1志望の大学に向かっていく原動力にもなっています。

3年間、全額支給の特待生を維持し、東京大に合格した、早稲田大に合格した、慶應義塾大に進んだ、などという嬉しい結果につながった例は多数あります（学校によっては入学試験の成績優秀者に対して次項と同じ「奨学生」という名称で学費を援助している学校もあります）。

奨学金制度

入学後の成績優秀者に適用

入試時に成績優秀者ではなくとも、それからぐんぐんと成績を伸ばす生徒は私立高校にはたくさんいます。

そのような、入学してのちの学業（成績）優秀生に対して学費を支援する奨学生制度を設けている学校もたくさんあります。ほとんどが、学費の全額あるいは半額を支援する奨学金を支給しています。

埼玉の私立高校では、入学してからでも勉強を頑張ることで、学費の支援が受けられる制度があるわけです。授業に積極的に取り組み、試験前の準備なども十分に行っていけば奨学生になれる

す。多くの私立高校生がそれもモチベーションとなって勉強に積極的に取り組んでいます。

このような生徒が多い埼玉の私立高校は、高校生活を楽しみながらも勉強に力を入れている生徒が多いので、学校全体が授業も行事も活気があります。充実した高校生活を送ることができますから、それが勉強への励みともなり多くの生徒が第1志望の大学に合格していくのです。

経済的理由による支援制度 支援金支給や貸与制度

高校入学後に経済的に困った家庭に対し、支援を行っている学校も年々増えています。

このような家庭の多くの生徒を、埼玉の私立高校はサポートしてきました。

「この制度があったので、私立高校に通い続けることができ国立大学や難関私立大学に合格できた」という卒業生も何人もいます。

学校によっては学費全額に加え、修学旅行にかかる費用を支援している学校もあります。このような公立にはない支援の制度がある私立高校に、保護者から感謝の言葉が届いています。

また、貸与の制度がある学校もあります。経済的に困った生徒に対し、奨学金を学費全額ぶんや半額ぶんを貸与してくれます。社会人になってから奨学金の返済を少しずつ行えばよい、この制度で学校をやめなくてすんだという生徒もたくさんいます。

学校名	学校独自の特待生制度と奨学金制度
秋草学園高等学校	ランクに応じて公的な支援金、補助金を除いた学費が減額される学力S・A奨学生、部活動奨学生と、入学金が減額される秋草優遇制度
浦和学院高等学校	学費の一部または全額が支給される学業特待生、スポーツ特待生と、授業料の半額相当額が支給される奨学生制度
浦和実業学園高等学校	奨学金が毎月支給される学業特待制度と、奨学金が授与される九里總一郎記念奨学金
浦和ルーテル学院高等学校	奨学金が支給される奨学生制度
浦和麗明高等学校	ランクに応じて入学金、施設設備費、環境維持費、授業料などの相当額が給付される奨学生Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（すべて特進選抜コースのみ）
叡明高等学校	学納金相当額が給付される成績奨学生（普通科特別進学コース、進学選抜コース）、文化・スポーツ奨学生（普通科または工業系）
大川学園高等学校	特待生入試に合格すると3年間の授業料相当額が給付される特待生制度と、年末の時点において成績優秀で他の生徒の模範として活躍した生徒の1学期分の授業料相当額が免除される特別奨学生制度
大妻嵐山高等学校	成績優秀者奨学制度、チャレンジ入試奨学制度、セレクト奨学生制度、卒業生の子・姉妹の在籍者への嵐山同窓奨学金
大宮開成高等学校	入学金・施設費・授業料免除（単願）または授業料減額（併願）の特待制度（特進選抜国立先進コースのみ）

※アンケート調査に基づく グローバル教育出版調べ 2015年5月1日時点